

【 関 市 】

校務DX計画

1. 教職員の校務に関わること

(1) 電子文書管理環境の整備

ペーパーレス化を進めるため、会議や研修会等における資料の共有、保護者への文書発出を可能な限りクラウドベースで行う

(2) FAXの原則廃止

可能な限りFAXの利用を廃止するため、これまでFAXによる文書の授受を行ってきた事業者等とも連携する

(3) 押印や署名の必要な文書の原則廃止

クラウドでのフォームを活用するなど、学校や保護者からの提出を必要とする文書について、その取り扱いを変更する

(4) 会議や研修における、オンライン、オンデマンドでの参加

委員会主催、校内外の会議を対面とオンラインの両面での実施を推進し、様々な勤務形態や非常時に対応できる環境を整える
また、研修についても録画したものを後日視聴できるようにし、教職員が研修への参加しやすい環境を整備する

(5) 校務支援システムへの名簿情報等の不必要な手入力等の一掃

名簿情報等の入力は一括して実施する
学校独自で収集が必要な情報は、フォーム等を活用し、校務支援システムへの一括入力を行う

2. 児童生徒や家庭に関わること

(1) 教育相談アプリの導入

児童生徒の心と体の健康状態を把握するためのアプリを導入し、普段の観察や対話に加え、ICTの側面からも児童生徒の実態把握に務める

(2) 連絡用ツールの活用

保護者用の連絡ツールを導入し、出欠席の連絡や学校・教育委員会からのお知らせ、アンケートをクラウド上でおこなう

3. 次世代の校務支援システムの導入 … 以下を目的に整備を行う

- 児童生徒の学習や出欠席の状況、健康、発達の記録等をクラウドベースで一元管理することで、教職員の業務効率を向上させる
- 校内の様々な名簿管理を一元化することで、転出入や転級等における学籍の移動の際の瑕疵の根絶を目指す

4. 教職員の研修と保護者への啓発・合意形成

- 第2期のGIGAスクール構想の実現に向けて、GIGA環境を活用した児童生徒へのより充実したまなびの場の提供、また、校務DXの一層の推進を行うため、教職員向けの研修を充実させる
- デジタル・シティズンシップ教育、家庭学習やキャリア教育に関する共通理解を図るため、保護者へ向けてのガイダンスを充実させる